

市議会 12月会議

一般質問 質問事項	発言順位	4	質問議員	吉本史宏
-----------	------	---	------	------

質問要旨 (概要)

1 白山市の財政と債務、事業の今後について

- (1) 財政調整基金は、災害や緊急性の高い事業があった際、市民の生命と財産を守るためのものだが、これまでの推移と現状、今後の基金の状況をどのように考えているのか。
- (2) 経常収支比率が悪化する中、今年度当初予算に示された各事業や公共事業について、年度内または来年度からの独自事業について見直しを進める予定は。

2 無縁墓・無縁遺骨の管理について

- (1) 町内会の共同墓地整備事業を見直し、無縁墓への対応、無縁遺骨を納める納骨堂等を整備する補助制度をつくるべきでは。
- (2) 市の合葬墓に無縁遺骨を無償で受入れることを検討すべきでは。
- (3) 墓が不要な散骨や樹木葬が増えていることについての市の考えは。

3 ドローンの活用について

- (1) ドローン事業者とどのような協定を締結し活用を考えているのか。
- (2) ドローンを飛ばすことができる場所を確保するため、遊休施設の活用やスポーツ施設などの目的外利用ができないか。
- (3) ドローン技術を含む最先端技術は学校教育の可能性を一層広げ、子どもたち一人一人の視野をさらに広げることになると思うが、どのように考えているのか。

4 飲酒運転根絶について

- (1) 12月1日からアルコールチェックが義務化されたが、市役所での運用は。
- (2) 石川県飲酒運転の根絶に関する条例で県民への情報提供・啓発等のほか、飲酒運転根絶の日（12月11日）を設定して重点的に取組を推進しているが、市としての職員・市民への取組は。

質問要旨(概要)

5 自転車のヘルメット着用推進について

- (1) ヘルメットの着用率を上げるための取組は。
- (2) 自転車ヘルメット購入費助成事業の利用者の推移は。
- (3) ヘルメットの着用を促進するために助成金額を上げることも必要では。

6 博物館の活性化について

- (1) 今年4月の博物館法改正に伴う博物館登録制度の見直しや事業の見直し、学芸員補の資格や国・県による研修についての対応は。
- (2) 他の博物館や文化施設との連携・協力や文化庁や県との連絡体制についての対応は。
- (3) 博物館活動がより充実し地域社会への貢献が期待されるが、どのように考えているのか。

7 消費者被害を防ぐための消費生活センターの取組について

- (1) 白山市消費生活センターにおける相談内容の傾向や相談状況及び年代別相談件数の推移等の現状は。
- (2) トラブル未然防止のための情報提供や各種団体・地域等との連携はどのようにしているのか。
- (3) 学校教育における消費者教育はどのようにしているのか。

8 各種団体の事業に対する共催・協賛・協力・後援について

これらの対応への基準と近年の申請件数と承認件数は。

質問要旨(概要)

9 子どもの視力低下について

- (1) 小・中学生の視力低下をどのように認識しているのか。
- (2) 小・中学校における眼科検診の現状は。
- (3) 石川県内の幼稚園児の視力 1.0 未満の比率が増えている要因は。
- (4) 鯖江市が作成した「めがねのまちの目のけんこう体操」など、教育現場における今後の対策は。
- (5) 外遊びに予防効果があると言われていたが、どのように考えているのか。

10 公共交通の在り方について

公共交通空白地域を市長はどのように捉え、今後どのようにしていく考えか。

11 加賀立国 1200 年について

- (1) 西暦 823 年に加賀郡の南半を石川郡として他の 3 郡と共に 4 郡で立国された加賀国の一員として、立国 1200 年をどのように認識しているのか。
- (2) この歴史を踏まえた新たな取組として、広域連携を進めていくことをどのように考えるのか。